# STRUM

シュトゥルム

第 59 号 2023 年 3 月 31 日発行

春満開となり、お出かけが楽しい季節になりました。いつもStrumをご覧いただき本当にありがとうございます。皆様にお伝えしなければならないお知らせを別紙同封しております。出会いと別れの春ですが、また新たな扉を開ける始まりの時でもあります。伊都さんにとって、そして皆様にとりましても、優しい光に満ちた季節になりますように!!



### 近況報告

2023 年も春がきました。

のはらうたに、「みみのさきの すべすべ やわらかいところが いちばんさきに はるになります それからしばらくして のはらじゅうが はるになります」とうさぎふたごの詩がありますが、私の 場合、みみではなく、足の膝裏の柔らかいところがかゆくなってくると、ああ春だなと感じます。 31 年の生涯で 600 曲の歌曲を含め、約 1000 曲の作品を残した歌曲王シューベルトの歌曲「音楽に寄す」の 一節では、「甘美なる芸術よ 心病める時も 人生の荒波の前にも 心に灯る暖かい愛情の光 別世界 へと誘う」と歌われます。新しい季節、心に灯る音楽を奏でられたらと願いつつ、3 年目を迎える 毎週のラジオ生演奏収録、そして今年は少しずつコンサート等、生演奏の機会を増やしていきたいと 思っていますので、音楽の波動を感じに、足を運んで頂ければ幸いです。 【伊都】

## Easter Violin Concert

Violin 加納伊都 Piano 柳原佳子

J.S. バッハ:シャコンヌ

(ヴァイオリンソロ)

ヴォーン・ウィリアムズ:揚げひばり ヴィヴァルディ:四季「春|より 他

#### 問い合わせ

加納伊都リサイタルオフィス info@itokanoh.com 横浜上野町教会 045(622)8330 ※チケットの販売はありません。 当日料金をお支払いください。

4月9日(日)

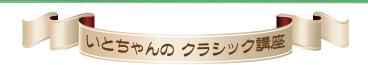
2:00pm~3:30pm

横浜上野町教会 大人 1,500 円 学生 (子供) 800 円

※演奏の聴ける年齢







op.32

現代クラシックのピッチ (周波数) は 442Hz(ヘルツ= a の音) が一般的です。 国際基準音は 440Hz ですが、少し高いピッチの方が弦楽器の音が明るくきれいに 響くため、年々あがっており、ウィーンでは 446 が使われることもあります。日本、

また国際コンクールなどは 442 で落ち着いていますが、アメリカでは基準の 442 が守られていることもあり、ヨーロッパからアメリカに行くと、音の高さの違いに戸惑うこともしばしばです。

またバロック、古典派の時代は 440 よりも約半音低く聞こえる、415 が使われており、現代でもバロック楽器で演奏する場合は、415 で調弦をします。不思議なもので、ピッチが異なると曲も違って聞こえ、音は波なのだと気づかされます。音波は治療、逆に拷問にも使用されますが、周波数 528 は、癒しの周波数で、ビートルズのジョン・レノンはこのピッチにこだわっていたとか、440 はマインドコントロールのために設定された、等、周波数に関する噂はいろいろとありますが、私は 443 の周波数がしっくりくるようです。モーツァルトのお気に入りは 420 ぐらいだったとのこと、自分の好きな周波数を確かめてみるのも楽しいかもしれません。

### コンサート情報

2019年日本

6月8日(木) 歌う瞑想 Live Café Stormy Monday 時間未定 他、マリン FM 本牧スタジオ内カフェにて、定期的にミニコンサートを行う予定です 詳細はホームページにてお知らせします。



DVD Classic Collection 「蜜蜂と遠雷」

直木賞受賞小説の映画化

若きピアニストの登竜門と称される国際ピアノコンクールに出場する4人の物語。天才少女と脚光 あらすじ を浴びながら母の死により一度は失脚した栄伝亜夜、最後のチャンスに賭ける妻子持ちで楽器店勤務 の高島明石、ジュリアード音楽院在学中の完璧な演奏者マサル、先ごろ亡くなった世界最高峰のピア ニストの推薦状を持つが、自身はピアノを持っていない風間塵は凄まじい演奏で聴衆を圧倒する。

見どころ 直木賞と本屋大賞のW受賞で話題になった恩田陸氏の小説映画化。松岡茉優、松坂桃李らが共演している。ポーランドで学んだという監督の映像は抑えた色彩で美しい。バッハ、ベートーヴェン、ショパン、リスト、ラフマニノフ…多くのピアノ曲を良い音響で聴くことができる。クライマックスで演奏されるプロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番は心に響く。松岡茉優の演技や当てぶりも上手い。

感想 音楽を文字で表現するということは読者の想像の世界、それがベストセラーになるとはどういうことなのか気になり原作を読んでみた。長編上下巻で若者たちの葛藤、苦しみ、喜び、友情、演奏内容等々を細やかに表現した作品。それを2時間の映画にするのはとても無理だが、実際の音や映像で表せる部分も大きく、クラシック音楽を楽しめる映画。お陰でクラシックファンが増えたと聞く。

\*今回の作品は NETFLIX で視聴しましたが TSUTAYA の店舗でレンタルも可能です

編集後記 事業や活動を継続していくには、人、時間、お金…様々な要素が必要になります。同封の後援会についてのお知らせをご覧になっていろいろなご感想をお持ちになることと思います。皆様のご意見ご感想もよろしければ後援会宛にお寄せ下さい。/ 伊都さんのラジオスポンサー募集の件もまた、継続していく為には必要なことでしょう。私たちが良く知る民放の番組にはスポンサーが付いているのが普通ですから。伊都さんのラジオ番組をお聴きになったことがあればお分かりかと思いますが、2年100回を経過しても尚、彼女の引き出しの多さにはいつも驚かされます。楽しく大変貴重な番組、今後も長く続くようにと願います。 <ゆ>

発行:加納伊都後援会TRAUBEN 〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台15 TEL:045-622-6780 FAX:045-621-6423

Email: trauben@itokanoh.com Homepage: itokanoh.com